

參考資料

1. 三重県内の他の市町村の観光計画

現在、三重県内の市町で観光計画を策定しているのは9市町である。

市町村名	伊賀市	
計画名称	伊賀市観光振興ビジョン	
計画策定年月	平成24年3月	
計画内容	基本理念	まち、さと、やまで培われてきた地域の宝に 出会い、味わい、わかちあう「場」をつくる
	ビジョン	1 多様なものに出会える場である 2 価値をじっくりと味わえる場である 3 誰もが参加して支える場である

市町村名	伊勢市	
計画名称	伊勢市観光振興基本計画	
計画策定年月	平成26年3月	
計画内容	基本理念	「住む人と訪れる人がおかげさまの心を通じて交わるまち」 「常若の精神を未来へ受け継ぎ、進化し続けるまち」
	基本方針	1 新たな地域資源の発掘、開発・磨き上げ 2 笑顔で迎える受入基盤・環境の整備 3 行政・事業者を越えた地域連携の推進 4 ターゲット別PR戦略と検証可能な取り組み 5 「競争と協働」視点での広域連携の推進 6 市民の地域愛からにじみ出る「おかげさまの心」

市町村名	亀山市	
計画名称	亀山市観光振興ビジョン ～まちを磨き、交流を育む、まちづくり観光を進めます！～	
計画策定年月	平成21年3月	
計画内容	基本方針	まちを磨き、交流を育む、まちづくり観光を進めます！
	視点	1 持続可能な観光を目指す 2 市民が育てる観光をめざす 3 魅力的な“人”や“暮らし”を感じてもらおう観光をめざす
	基本戦略	1 まちづくり観光の好循環をつくる 2 まちづくり観光の基礎をととのえる

市町村名	紀北町	
計画名称	紀北町観光振興プラン	
計画策定年月	平成20年2月	
計画内容	基本コンセプト	きもち、ほっと、くつろぐ町 きほく ～古道で、魚まちで、銚子川で、熊野灘で 人と自然に癒される「廻りのまち」の実現
	基本方針	1 官民協働 ーただし、主役は民(民間組織、町民) 2 住む人(町民)・訪れる人(観光客)両者の満足度向上 3 紀北町が持つ優れた環境・雰囲気(＝快適な癒しの空間)の保全・復興 4 紀北町全体の「演出力」の向上 5 産業連携による町内産業全体の活性化

市町村名	桑名市	
計画名称	桑名市観光振興プラン	
計画策定年月	平成18年3月	
計画内容	観光振興のコンセプト	川と街道が織りなす交流文化都市・桑名
	基本戦略	〔重点戦略〕 1 川と街道の文化にふれるにぎわいの舞台環境づくり 〔支援戦略〕 2 川と街道の魅力にふれる桑名ならではの観光スタイルの提案 3 川と街道のまち・桑名の情報発信 4 まちの魅力を伝えるおもてなしの体制づくり

市町村名	菰野町	
計画名称	菰野町観光振興プラン ～持続可能な観光地をめざして～	
計画策定年月	平成21年9月	
計画内容	理念	先人が守ってきた自然を次世代に引き継ぐため、水と空気のきれいな観光地を宝と考え、この地で健康的で人にも環境にも優しい、持続可能な観光地をめざします。
	目標	1 鈴鹿国定公園や溪流を含む自然を活かした観光地づくり 2 農業や他産業と連携した観光振興 3 地域が一体となった「もてなし」の観光地づくり
	基本方針	1 多様な観光ニーズへの対応 2 地産地消と地域ブランドの創出 3 交通対策・景観等の基盤整備 4 もてなしの向上

市町村名	鈴鹿市	
計画名称	鈴鹿市観光振興基本計画	
計画策定年月	平成19年3月	
計画内容	観光振興戦略	1 イメージ戦略 2 観光情報の伝達 3 観光ルート・観光地区・観光イベントの設定 4 交通環境や観光施設などの整備 5 観光振興体制の確立

市町村名	津市	
計画名称	津市観光振興ビジョン	
計画策定年月	平成21年2月	
計画内容	観光振興ビジョンが目指す将来像	自然、歴史・文化が奏でる観光交流のまち
	施策	1 人と資源を活かした地域の魅力づくり 2 観光イメージの形成 3 受け入れ体制の充実と広域連携の強化
	基本姿勢	1 津市の「魅力」を再認識し、共有することから始めます 2 「まちづくり」と同時進行で進めます 3 多様な魅力が活かせるような総力で取り組みます

市町村名	明和町	
計画名称	明和町観光振興計画	
計画策定年月	平成23年3月	
計画内容	将来目標	歴史と自然が彩るおもてなしのまち・明和
	基本方針	1 観光客を呼び込むための目玉づくり 2 購買意欲をそそる商品開発・販売 3 再訪を促すための施設の魅力UP 4 町民のおもてなし力向上

2. 第2次鳥羽市観光基本計画 策定委員及び部会員名簿

○策定委員会

所属	役職	氏名
立教大学観光学部	教授	安島 博幸
鳥羽市観光協会	会長	吉川 勝也
鳥羽市温泉振興会	副会長	野村 秀光
鳥羽商工会議所	常議員	木村 良
鳥羽市旅館組合連絡協議会	理事長	寺田 順三郎
鳥羽観光施設連合会	会長	木下 登
鳥羽料飲組合	組合長	浦口 恵次
NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター	事務局長	野口 あゆみ
鳥羽ガイドボランティアの会	会長	徳田 享
島の旅社推進協議会	事務局長	山本 加奈子
鳥羽市エコツーリズム推進協議会	会長	江崎 貴久
鳥羽市広告宣伝戦略委員会	委員長	吉田 一喜
鳥羽志摩農業協同組合	常務理事	林 辰也
鳥羽磯部漁業協同組合	常務理事	藤原 隆仁
伊勢志摩観光コンベンション機構	事務局長	東浦 久修
近畿日本鉄道株式会社伊勢志摩事業推進部	部長	伏見 晋也
三重交通株式会社伊勢営業所	所長	早川 正素

<アドバイザー>

所属	役職	氏名
海の博物館	館長	石原 義剛
鳥羽市観光アドバイザー	—	奥野 和宏
三重県観光・国際局	国内誘客班	梶野 高広

<事務局>

所属	役職	氏名
鳥羽市役所	副市長	木下 憲一
鳥羽市役所観光課	課長	清水 敏也
鳥羽市役所観光課	課長補佐	高浪 七重
鳥羽市役所観光課	観光振興係長	松岡 孝治
鳥羽市役所観光課	観光企画係長	村田 直

○策定部会

【食の魅力創出】

役割	所属	氏名
部会長	鳥羽市観光協会	世古 晃文
	鳥羽志摩農業協同組合	斎藤 啓吉
副部会長	鳥羽市温泉振興会	世古 素大
	鳥羽磯部漁業協同組合	佐藤 真理子
	鳥羽料飲組合	伊藤 理
	鳥羽市旅館組合連絡協議会	寺田 順三郎
	鳥羽市役所観光課	高浪 七重
	鳥羽市役所農水商工課	野村 藤浩

【観光地の魅力向上と新たな観光】

役割	所属	氏名
部会長	鳥羽観光施設連合会	木下 登
	島の旅社推進協議会	濱口 ちづる
副部会長	鳥羽市エコツーリズム推進協議会	兵頭 智穂
	鳥羽ガイドボランティアの会	近藤 宣二
	鳥羽市観光協会	山崎 正文
	鳥羽商工会議所	小崎 則彦
	鳥羽市役所観光課	松岡 孝治
	鳥羽市役所企画財政課	河原 光寿
	鳥羽市役所教育委員会生涯学習課	豊田 祥三

【観光地の機能向上と情報提供】

役割	所属	氏名
部会長	鳥羽市広告宣伝戦略委員会	山本 欽久
	鳥羽市観光協会	山下 光洋
	NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター	中村 千枝
副部会長	鳥羽観光施設連合会	片山 剛
	伊勢志摩観光コンベンション機構	小阪 雅利
	近畿日本鉄道株式会社伊勢志摩事業推進部	矢吹 誠志
	三重交通株式会社伊勢営業所	堀口 時彦
	鳥羽市役所観光課	村田 直
	鳥羽市役所定期船課	村山 陽介
	鳥羽市役所建設課	鳥羽 学
	鳥羽市役所総務課	山口 朱成